

粘土カフェ からの ご報告 「薪割り合宿」実施しました！

5月17日、午後から薪割りをしました。5月24日、青山高原の別荘地から、2トンロングのトラックで、大量の間伐材（赤松）を運び込み、6月21日は薪割り。7月18日、残りの間伐材を運びこみました。翌19日は作陶会。

8月1日～3日と、23日～25日は、今年度、初めての試みとして、2泊3日の『薪割り合宿』が2クール実施されました。

1回生の時から、法人の活動に学生ボランティアさんとして毎年参加していた堀健君が、今年度から会員となり、かつ事務局員として「粘土カフェ」の運営にも参加。『薪割り合宿』は、作業時間の確保と、学生さんの交通費の軽減を考慮したもので、彼の企画立案・担当で行われました。

1日目・2日目は、切りっぱなし・割りっぱなし・置きっぱなしの手法により、片づけの時間を少なくするなど、工夫も盛りだくさんでした。「穴窯焼成」の活動を支えてくれている学生さんの中から、このような人材が育ったことを嬉しく思い、「粘土カフェ」の新たな歩みを実感しています。

（「粘土カフェ」担当：田上 早百合）



合宿当初の薪棚



合宿2日目の薪棚



薪を割る学生会員さん（中央）



合宿3日目、薪束でいっぱい！